

ベーシック研修の具体的な研修内容

① 発達障害（神経発達症）の特性理解

→発達障害（神経発達症）の自閉スペクトラム症、LD、ADHD を中心に各障害の特徴や基本的な支援について学びます。

②～④ 支援具作成ワークショップ

→研修や本、動画で知ったアイデアを使ってみただけどうまくいかないと感じたことはありませんか？
障害特性に基づいた支援のアイデア・知識や気を付けるポイントなどを基に実際に支援具を作ります。

- I 環境調整・見通し（日課）
- II 活動の流れ（作り方や遊び方などの手順）
- III 教材、作業の練習課題など

⑤ アセスメント（評価）

→日常の行動や各関係者（保護者、学校・事業所職員など）の情報から特徴や生活環境、困りごとを把握・情報収集・分析し、一人一人に合わせた支援に繋げるための方法を学びながら事例を基に練習します。

⑥ アセスメント（評価）に基づいた支援の計画

→アセスメントで得た特徴や課題などの情報に基づいて支援を考え、準備する方法を学びながら事例を基に練習します。

⑦～⑧ 問題行動への対応

→強度行動障害など暮らしに影響を及ぼす行動には理由があります。行動の観察から背景を探り、適切な支援へと繋げるための方法を学びます。

- I 問題行動の背景の探り方・具体的な支援の仕方についての計画の立て方
- II 具体的な関わり方や、1人・1つの事業所で抱え込まないためのアイデア紹介

⑨ コミュニケーション支援

→気持ちを伝える・お願いをする・助けを求めることなどに困難を抱えている方への支援方法を学び、事例を基に適切に伝えるための支援を考える練習をします。

⑩ グループ活動における支援

→研修などで1人に対する支援方法は理解したけれど、実際には複数人を同時で支援するのにどう活用したらよいか分からず困ることはありませんか？複数人同時に支援する際の組立て方や、活動のルールやマナーの伝え方を学びます。

⑪ 思春期・成人期に向けた支援

→思春期の対応に悩んだり、どんな準備をすればよいか不安に感じたりしていませんか？思春期・成人期に課題になることが多い性の課題や感情、余暇支援のアイデアを学びます。

☆各研修の最後に提出いただくアンケートに講師への質問記入欄を設け、次回の研修時に回答させていただく予定です。（時間の都合上、全ての質問に回答できない可能性もありますが、ご了承下さい。）

発達障害児・者支援の現場で働くみなさんに学んでほしい内容となっておりますので、パートで働く方や経験の浅い方なども是非ご参加下さい！